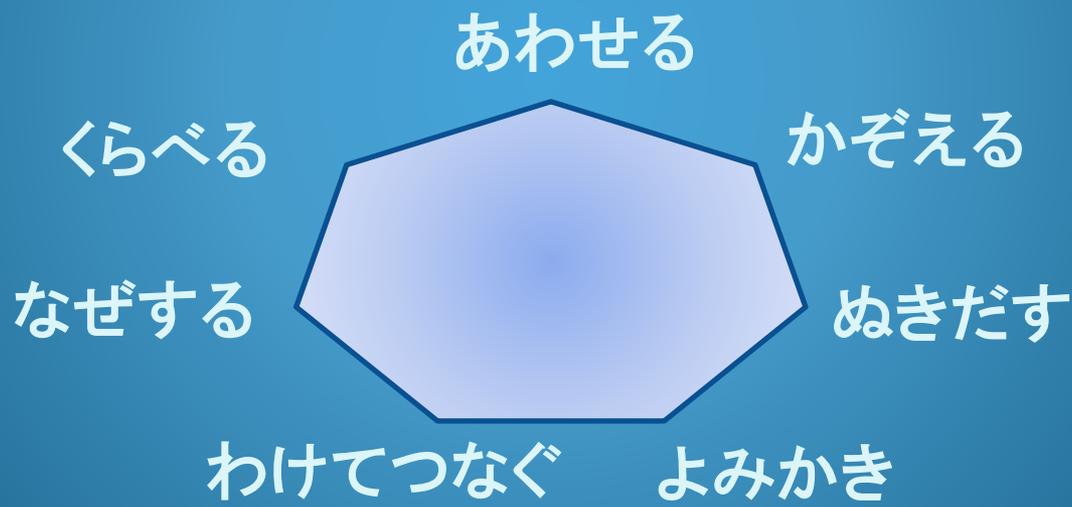


研究をどう考えるか ～研究のSeptagon 7角形～



名古屋大学 大学院 情報学研究科
教授 山本修一郎

自己紹介 ～主な経歴～

年月	事項	勤続	年齢
1979年 3月	名古屋大学 大学院 工学研究科 情報工学専攻 修了	0	24
1979年 4月	日本電信電話公社入社. 横須賀電気通信研究所入所	1	25
1981年 2月	横須賀電気通信研究所 処理プログラム研究室 研究主任	3	27
1986年 2月	横須賀電気通信研究所 管理システム研究室 主任研究員	8	32
1990年 3月	ソフトウェア研究所 主幹研究員	12	36
1999年 12月	情報流通プラットフォーム研究所主幹研究員	21	45
2000年 5月	電子情報通信学会 知能ソフトウェア工学研究会 研究専門委員長	22	46
2000年 9月	博士(工学)「3層アーキテクチャに基づくWWW情報システム開発方式の研究」	22	46
2002年 5月	NTTデータ 技術開発本部 副本部長	24	48
2007年 4月	NTTデータ 初代フェロー システム科学研究所 所長	28	52
2007年 4月	IPA 高信頼システム開発手法調査検討会リーダー	28	52
2008年 4月	AI学会 知識流通ネットワーク研究会主査	29	53
2009年 12月	名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授	31	55
2011年 11月	IPA 要求発展型開発手法WGリーダー	33	57
2012年 8月	ASDoQ ロードマップ部会 部会長	34	58
2013年 4月	AEA JAPAN 会長	35	59
2015年 1月	PM学会 中部支部長	36	60
2016年 3月	IPA システム構築上流工程強化部会 主査	37	61
2016年 4月	名古屋大学 大学院 情報科学研究科 情報システム学専攻 教授	38	61
2017年 4月	名古屋大学 大学院 情報学研究科 情報システム学専攻 教授	39	62
2018年 4月	経済産業省 「DX研究会」委員	40	63
2019年 5月	名古屋市 高齢カード入手	41	65
2020年 3月	電子情報通信学会 フェロー	41	65

これまでの取り組み

電電公社(1979-84) NTT(1985-2002)

	メインフレーム	クライアントサーバ	Web	ユビキタス	エンタープライズ
言語	PASCAL(1979) APL(1980-83) GUIDE(1979-83)	VGScript	WBScript CSML XTL	Sapphire(JavaCard) (2000-02)	ARM(2009-) D-Case(2011-) ArchiMate(2013-)
ミドルウェア		VGUIDE(1995)	WebBASE(1995-98) NTT DIRECTORY(1995-98) NexBASE(99-02)	RFID-PF(2003-04) ID-Commerce (2005-07)	
プラットフォーム			XForm(1998-00) InfoSTAGE(1998-00)	NICE(2000-02) MUSA(2002)	
			Σ serv(2002-04) Cell computing(2003-2006)	ODVPN(2002-07)	
支援環境	SoftDA(1984-94)	WACS(1996-97)	MDA(2002-04)		D-Caseエディタ 保証ケース作成支援系
方法論	プログラム理論 (1977-79)	3層設計法 (1995-98)	MORE/MODE(2002-04)	RFIDプライバシ保 護 (2006) ICカードCC検証 (2008)	知識創造デザイン(07) すりあわせの技術 (2009)
	移植支援法(1984) SA/SD(1990-94)	DREM(1994-97)			
	FBCM(2004-05), Biz-Alive!(2006), GORE(2008-) 高信頼性システム開発 (2007-09)			オープン・ディペンダビリティ工学(2011-13) O-DA(2013-) 合成安全性(2013-) EA(2010-) ITサービスマネジメント(2016-) MBJT(2017-) 可視化指標(2010-) IMSA(2018-) D-BSC(2020-)	

NTTデータ(2002-09)

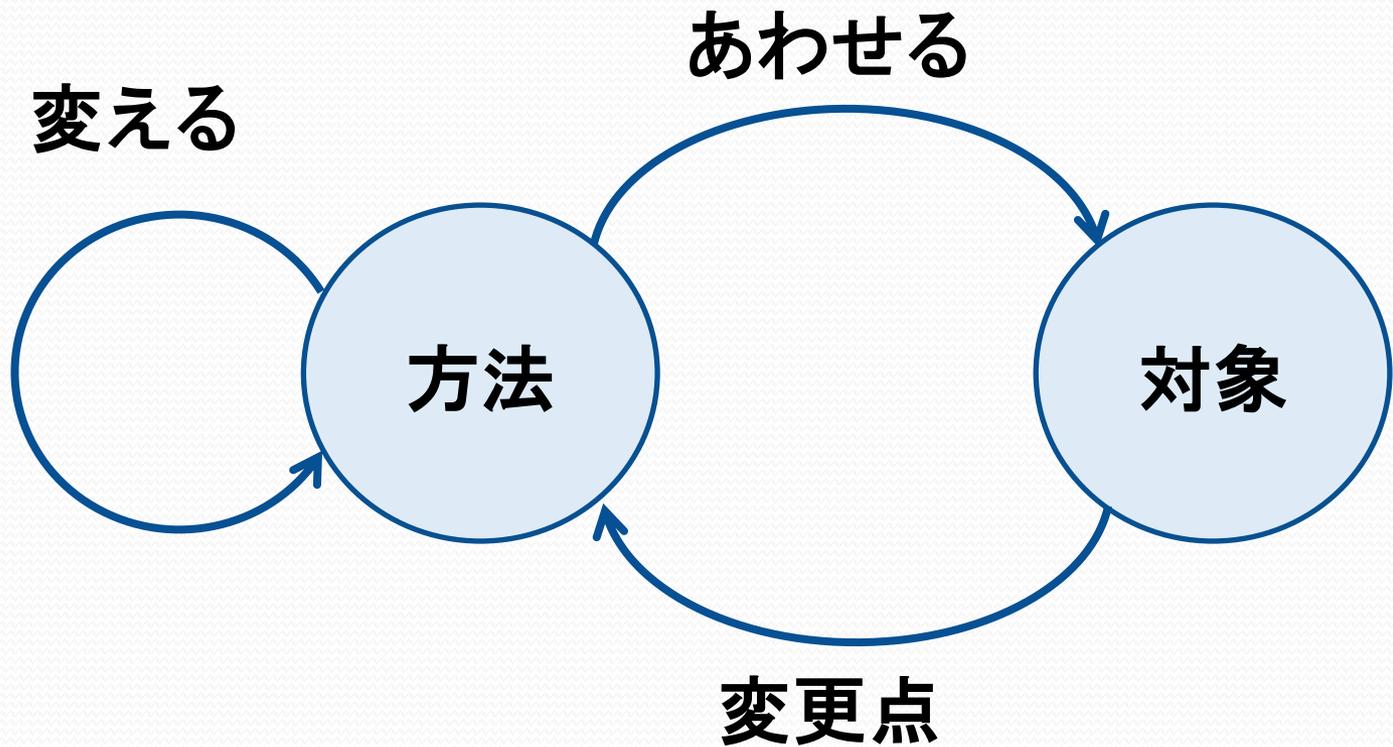
名古屋大学(2009-20)

あわせる

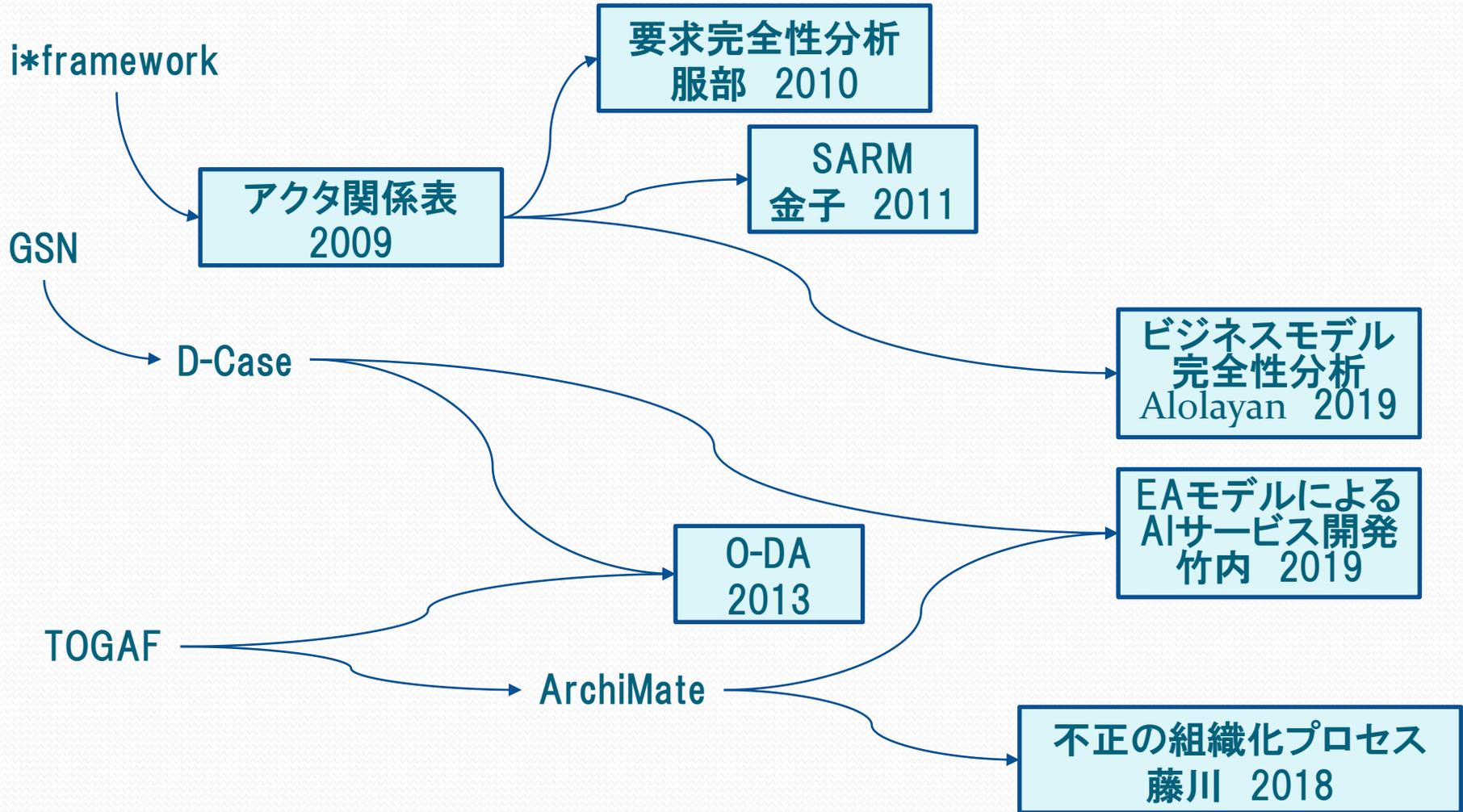
- 要求や条件に対応すること

あわせること

あわせなければ, 使えない
変えなければ, あわせられない



あわせる研究

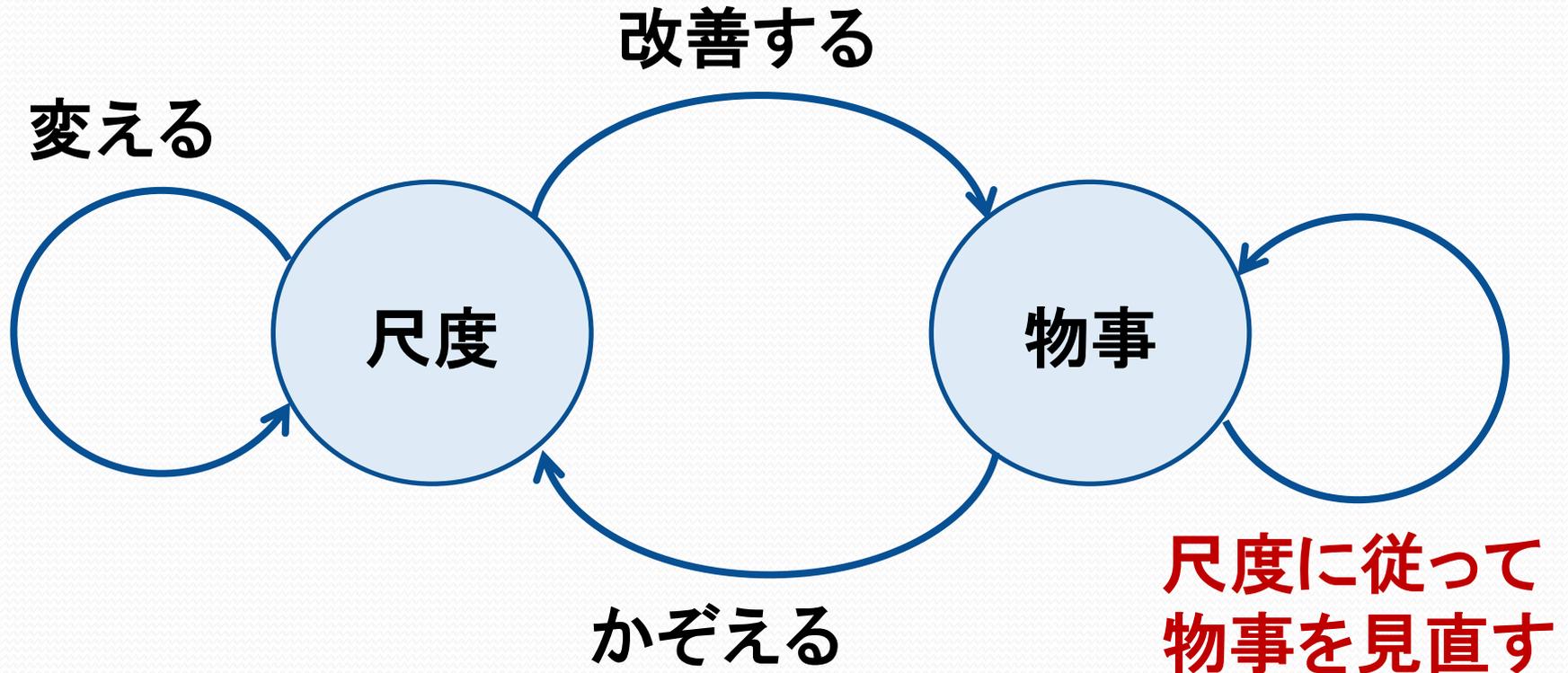


かぞえる

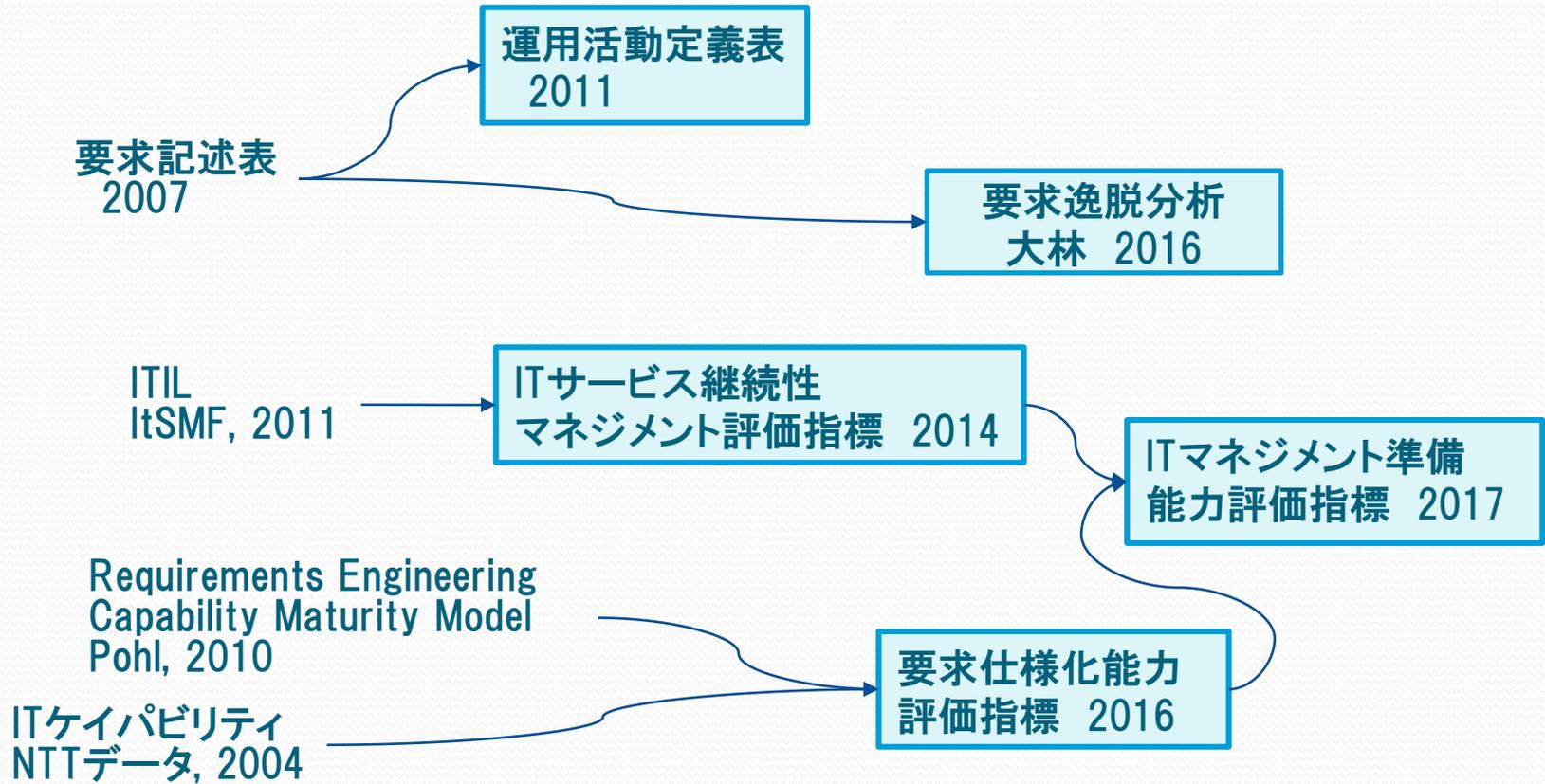
- 物事の見当をつけるためのめじるし

かぞえること

尺度がなければ、かぞえられない
かぞえなければ、物事を直せない



かぞえる研究

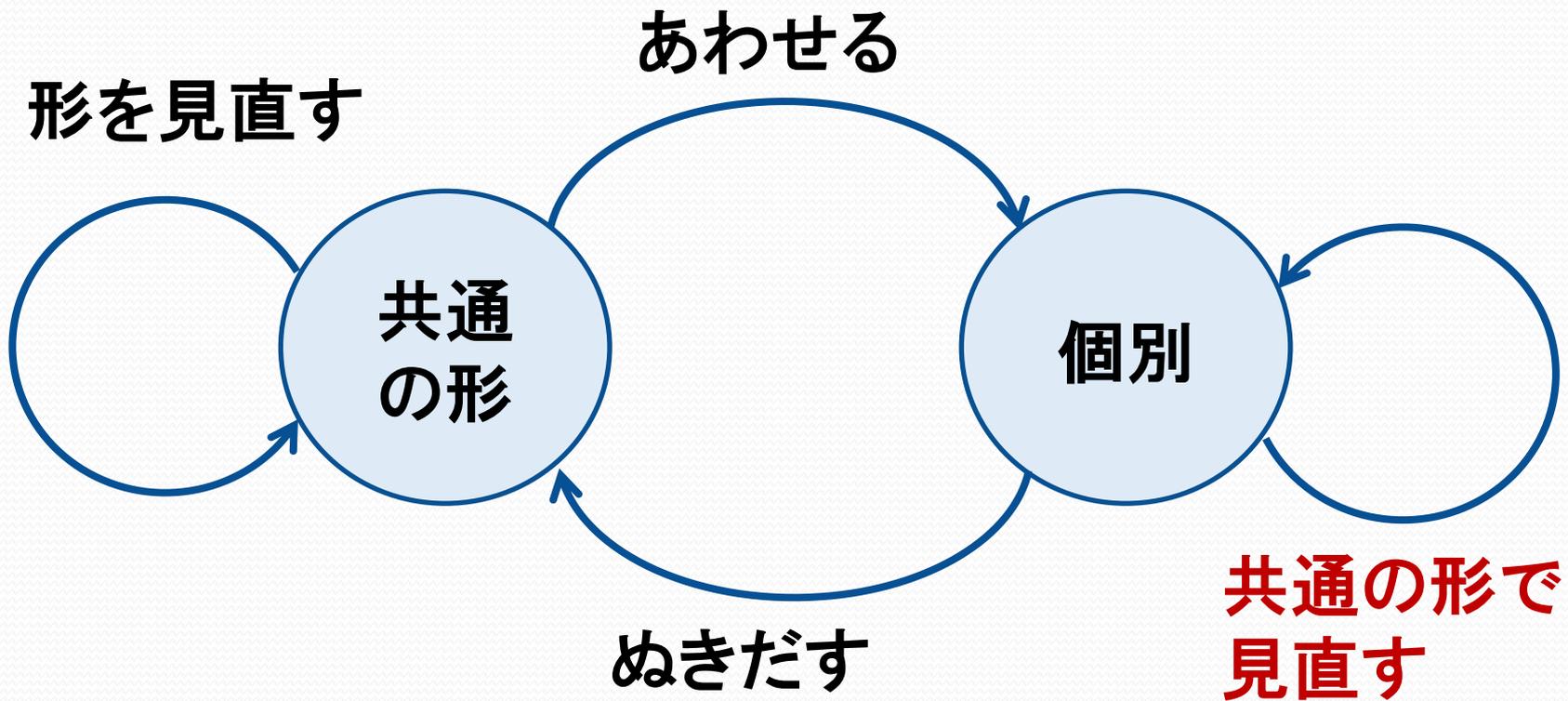


ぬきだす

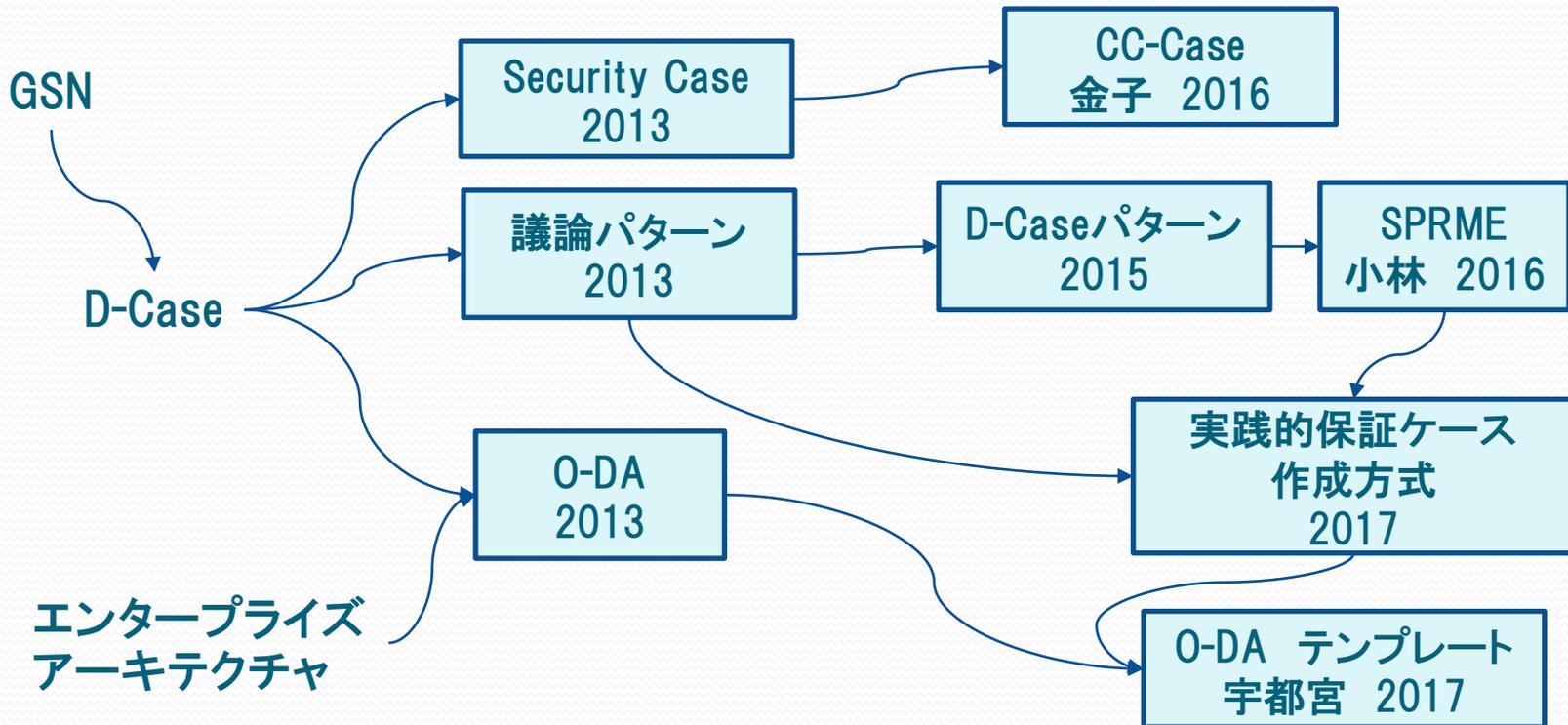
- 共通の側面・性質をぬきだす
- 他の側面・性質を捨てる

ぬきだすこと

あわせられなければ、ぬきだせていない
ぬきだせなければ、あわせられない

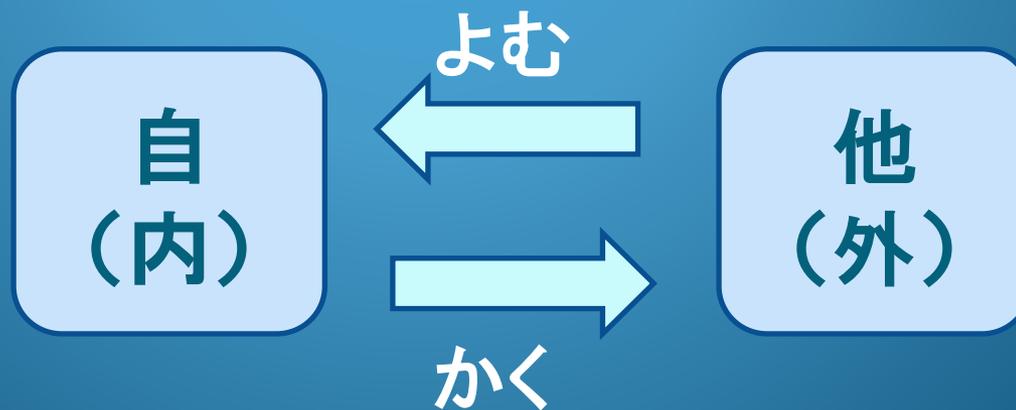


ぬきだす研究



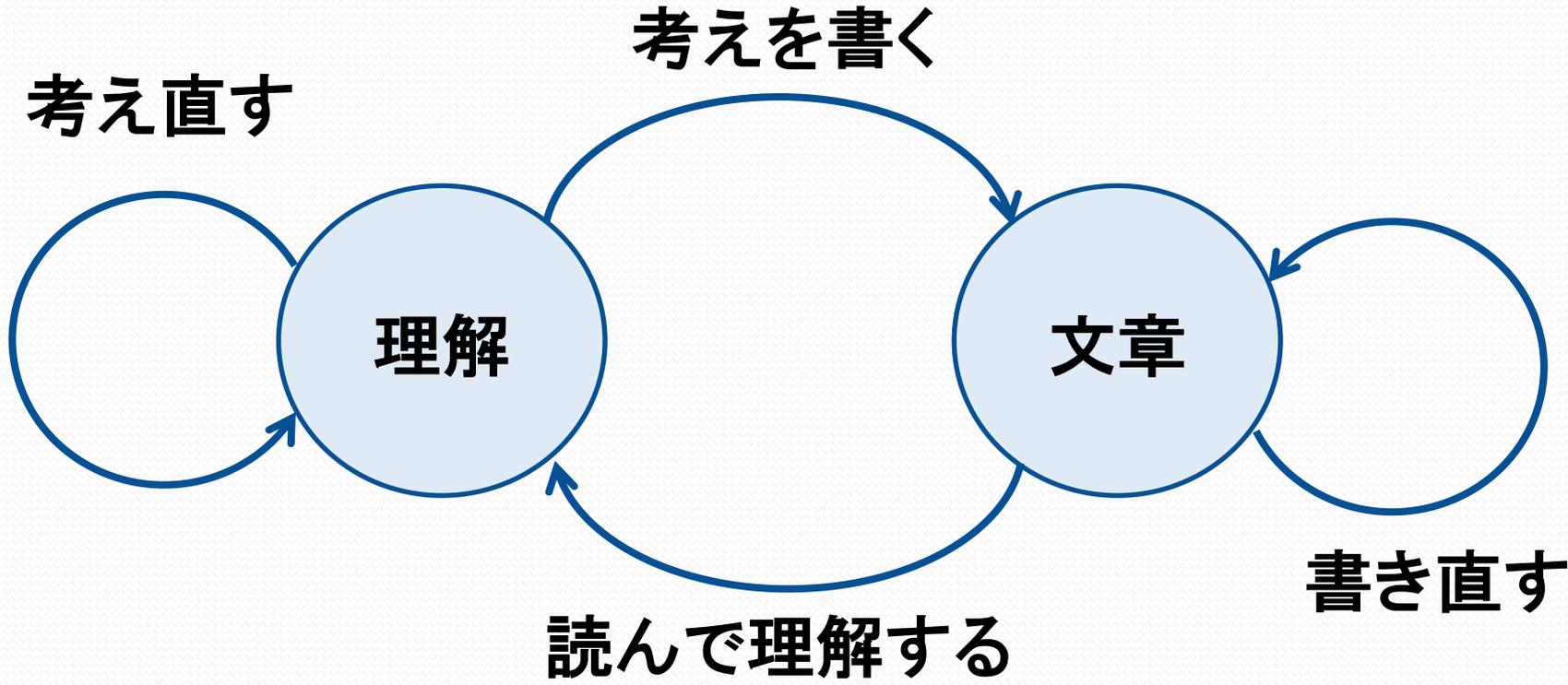
よみ・かき

- アウトサイドイン
- インサイドアウト



読むことと書くこと

書けなければ、理解できていない
理解できていなければ、書けない



読んだら、書く

先行研究

- i*framework
- D-Case
- ArchiMate
- EA
- ITIL
- ジョブ理論
- デジタル変革
- BSC
- CMM
- 要求工学

よむ

研究の方法

- あてはめる
- かぞえる
- ぬきだす
- わけてつなぐ
- なぜする
- くらべる

かく

書籍出版

- アーキテクチャ論
- 現代エンタープライズ・アーキテクチャ概論
- D-Case入門
- 実践D-CASE
- 主張と証拠
- 情報技術が加速する横断型融合人材
- ITサービスマネジメントの技法
- プロジェクトマネジメントの展望
- 要求工学基礎知識
- 要求開発の基礎知識

守

破

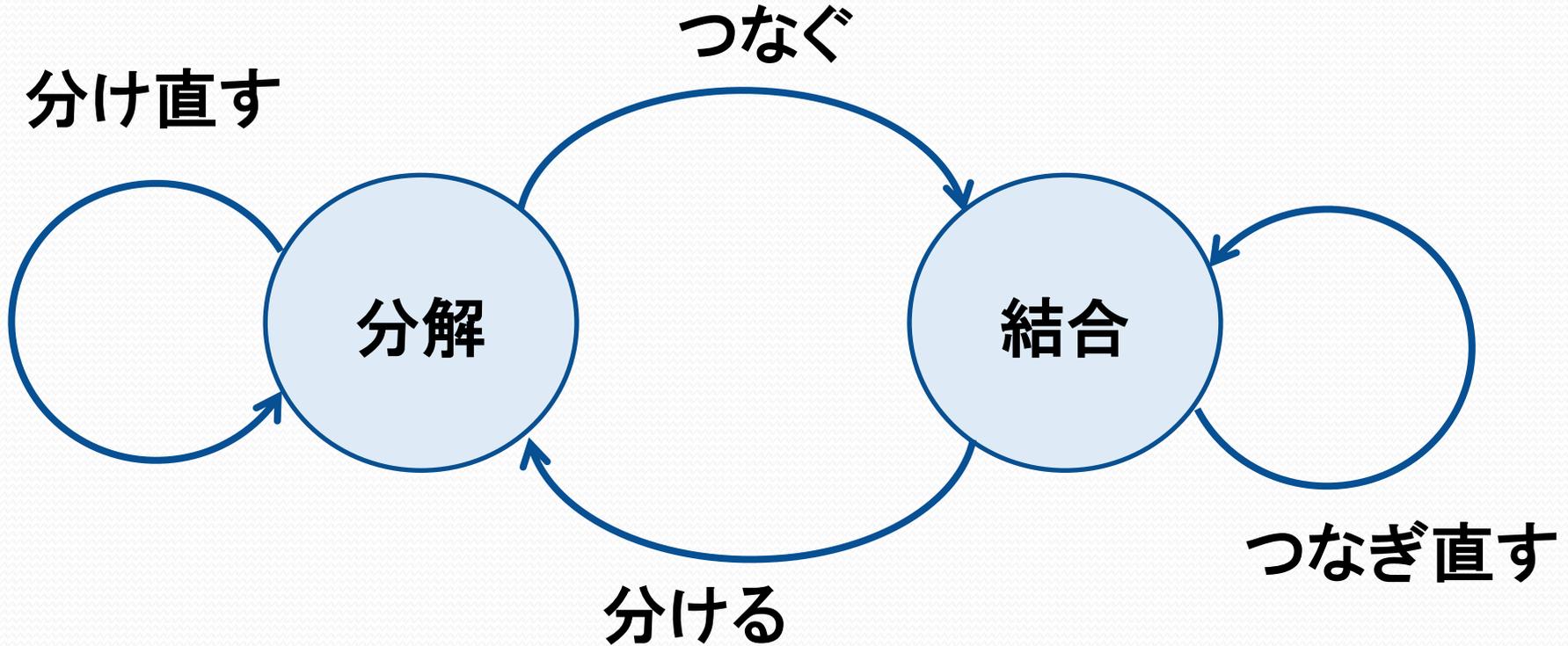
離

わけてつなぐ

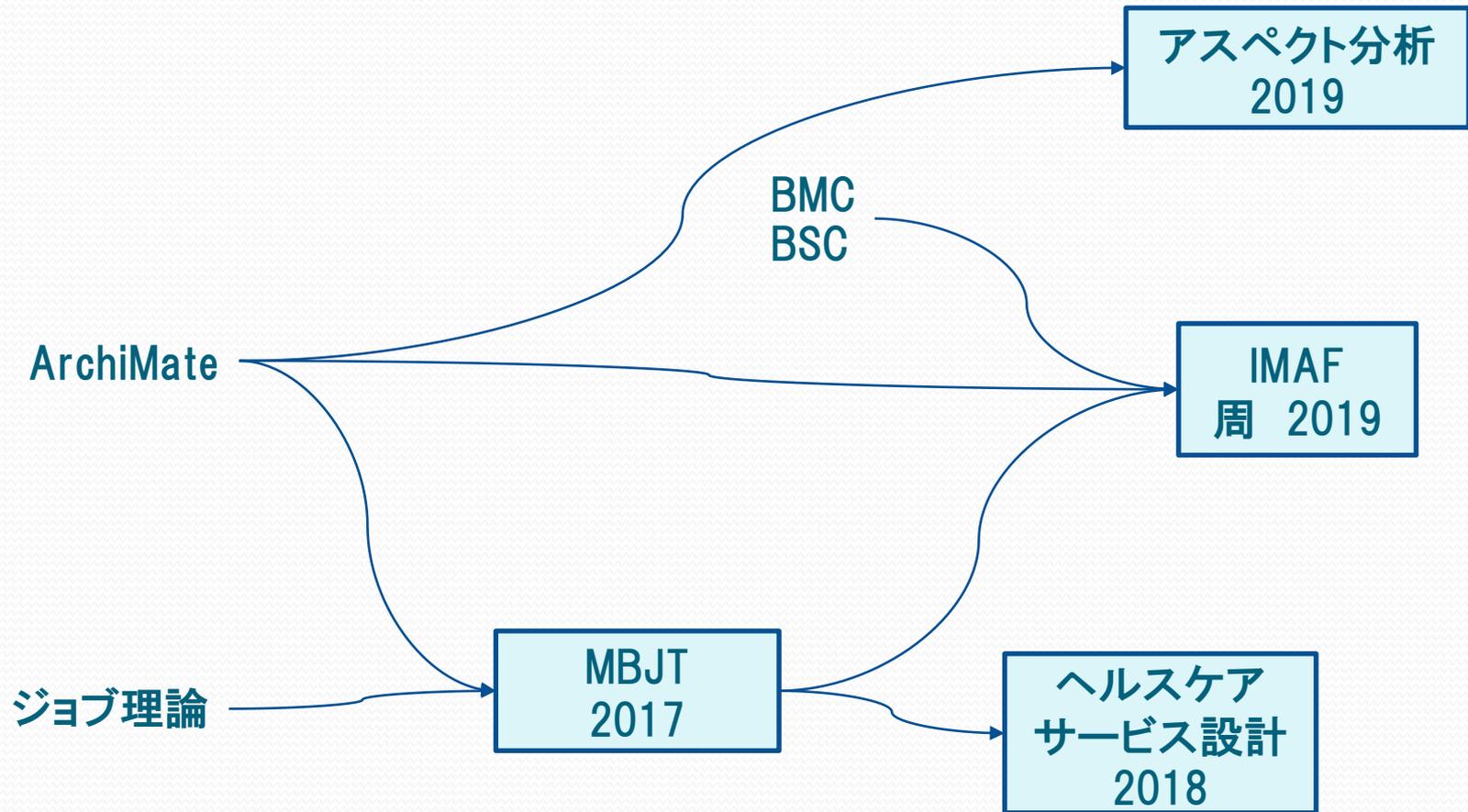
- 一体をなすものを要素に分けること
- 結び合わせて一つにすること

わけることとつなぐこと

わけなければ, なおせない
なおせなければ, わかれない



わけてつなぐ研究

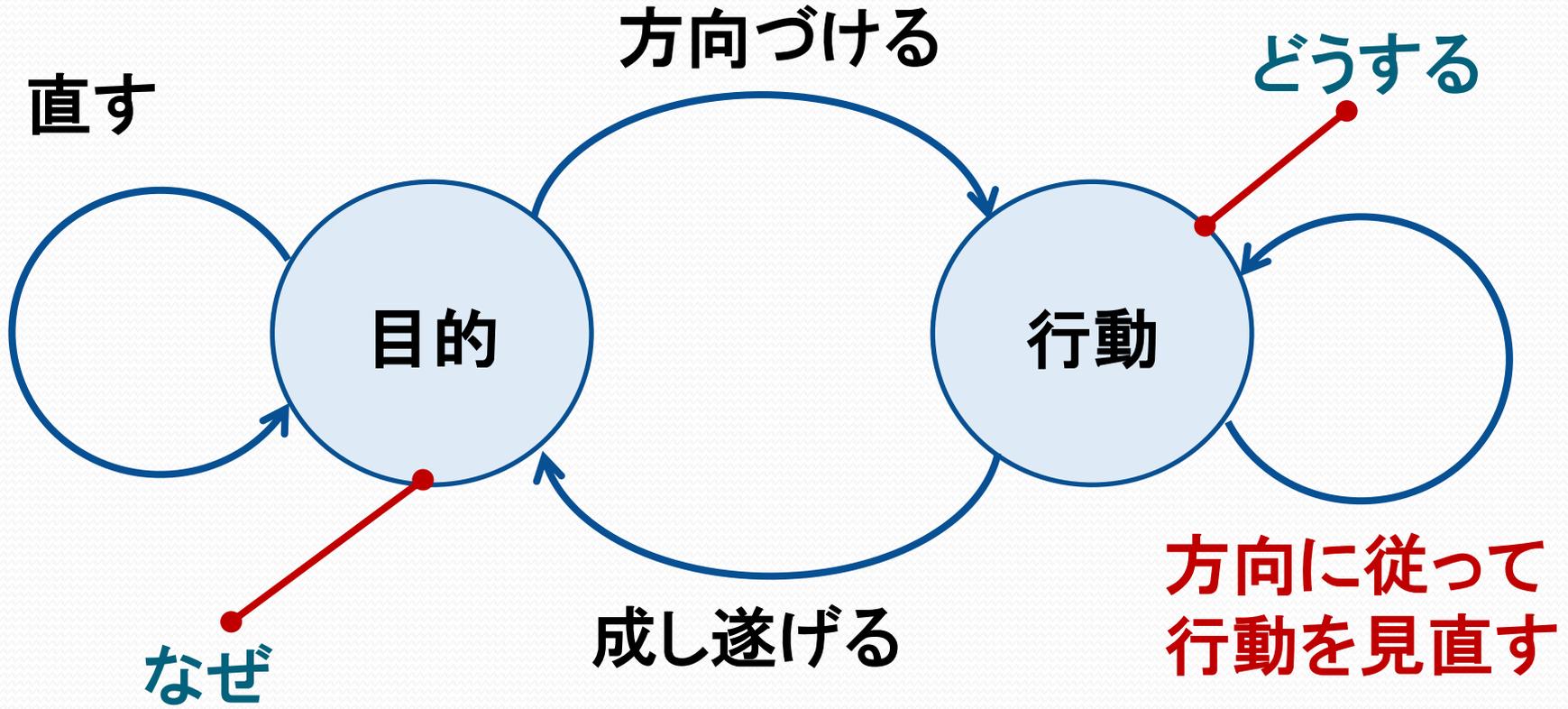


なぜ、どうする

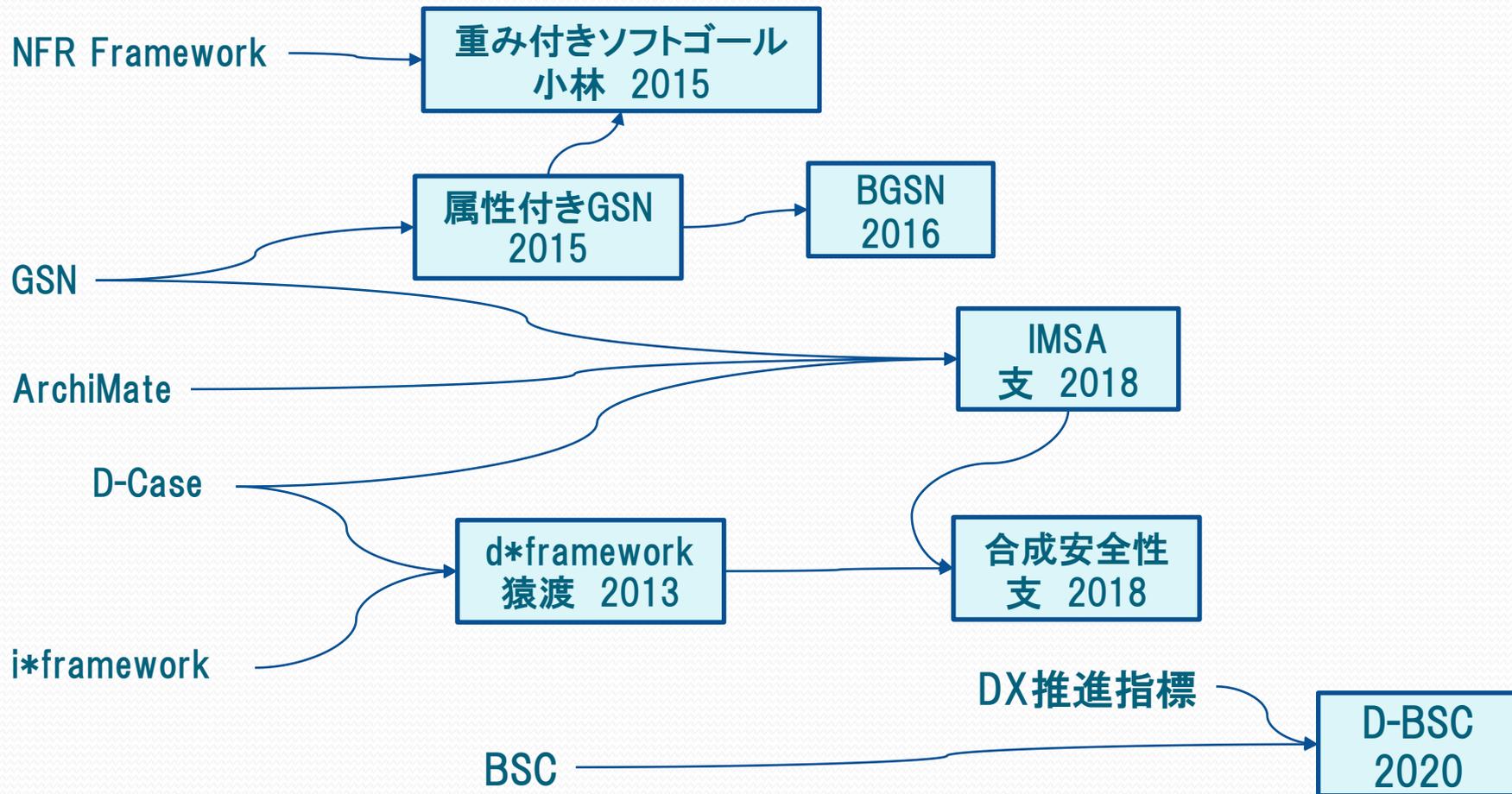
- 具体的な行動を定め、方向づけるもの
- 目的を達成するための具体的な行動

なぜ、どうする

目的がなければ、よくできない
よくできなければ、目的の意味がない



なぜ、どうする研究

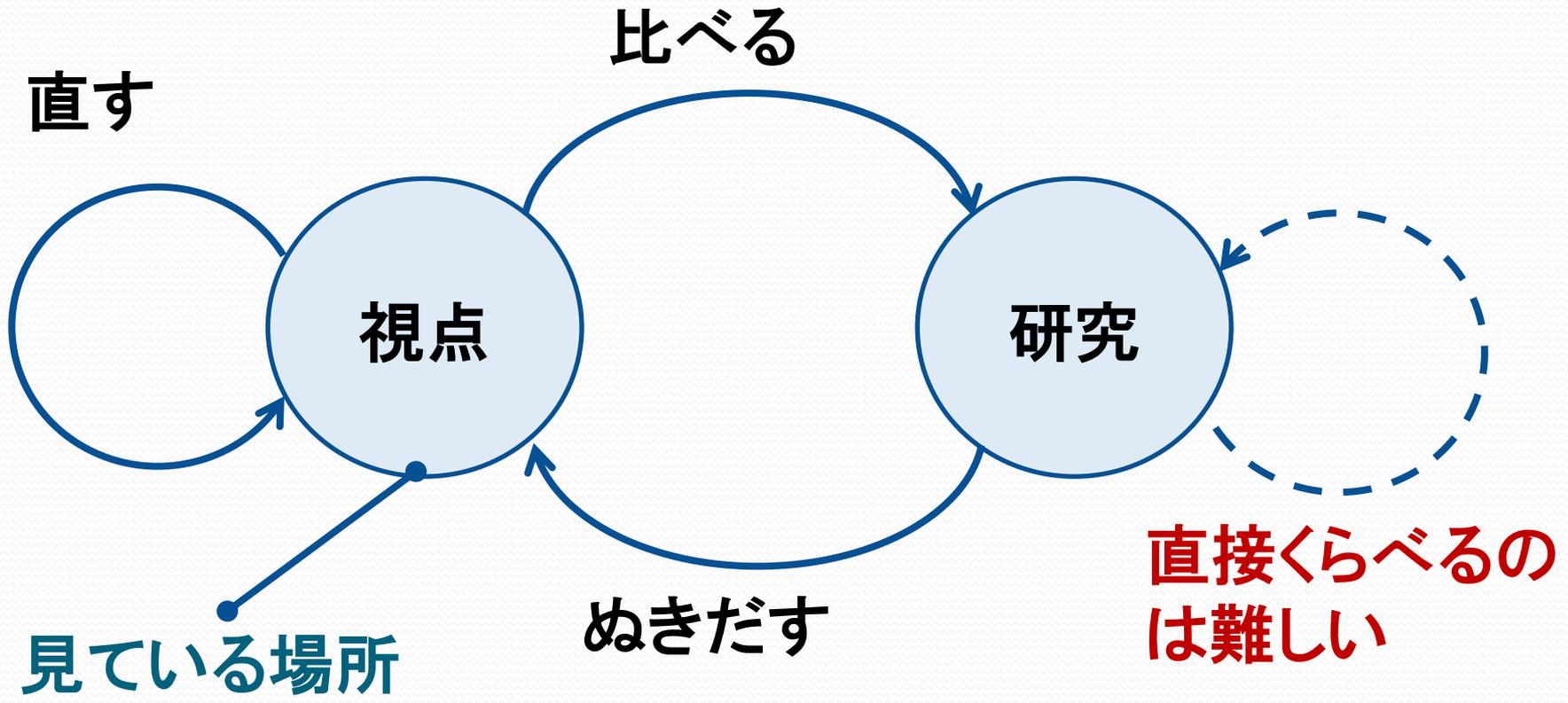


くらべる

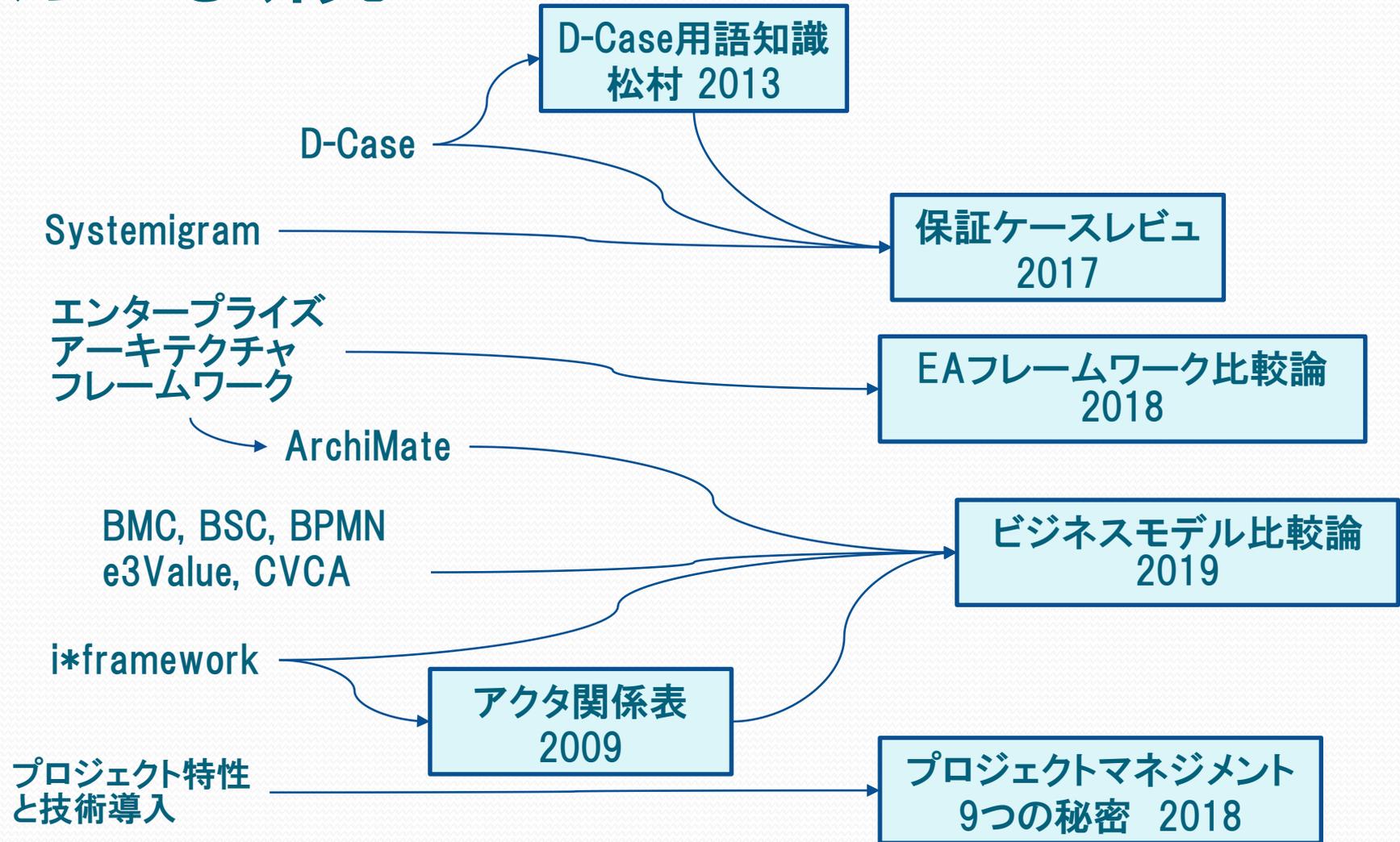
- 他との関係において在ること

くらべること

視点がなければ、くらべられない
ぬきだせなければ、視点をつくれない

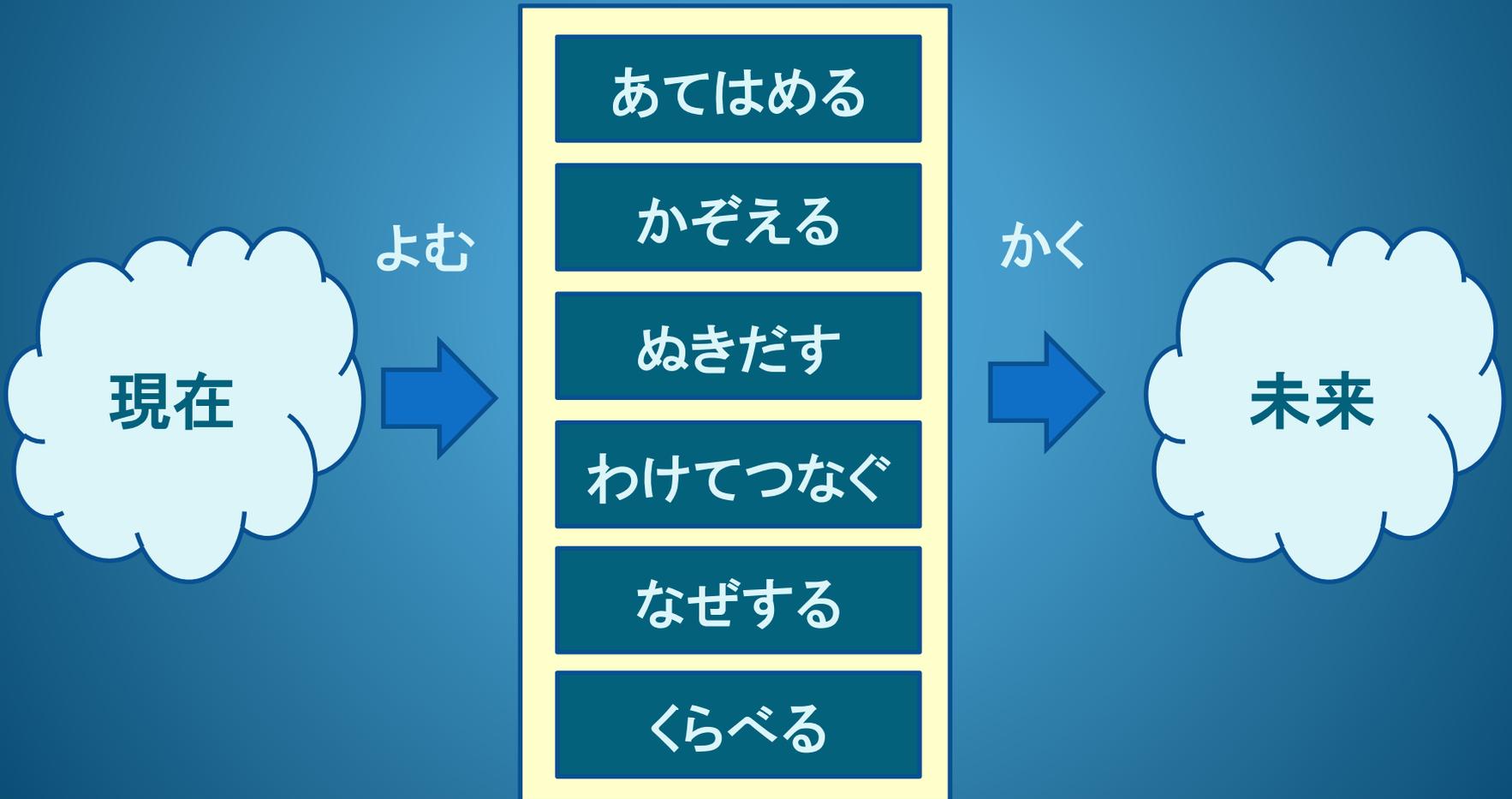


くらべる研究



おわりに

考える方法



ご清聴ありがとうございました